

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他の有価証券

時価のあるもの・・・決算日の市場価格等に基づく時価法によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品・・・最終仕入原価法に基づく原価法によっている。

消耗品・・・最終仕入原価法に基づく原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産・・・定率法によっている。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の前期末残高、当期末残高及びその残高は、次の通りである。

科目	取得価格	前期末残高	当期末残高	増減額
基本財産				
定期預金(基本)	—	2,000,000	2,000,000	0
投資信託1	60,000,000	32,415,943	40,796,293	8,380,350
投資信託2	50,000,000	29,677,600	18,558,957	-11,118,643
合計	110,000,000	64,093,543	61,355,250	-2,738,293

3. 基本財産の財源等の内訳

基本財産の財源等の内訳は、次の通りである。

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金(基本)	2,000,000		(2,000,000)	
投資信託1	40,796,293		(40,796,293)	
投資信託2	18,558,957		(18,558,957)	
合計	61,355,250		(61,355,250)	

4. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期期末高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期期末高は、次の通りである。

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
備品	194,741	194,741	0
合 計	194,741	194,741	0